

令和7年度

教育委員会の活動状況に関する
点 検 ・ 評 価 報 告 書
(令和8年9月)

喜茂別町教育委員会

目 次

I 教育委員会の活動状況に関する事項

1 教育委員会議等の状況	
(1) 定例会・臨時会の開催状況	1
(2) 会議・行事等の状況	4
(3) 評価・課題等	5
2 総合教育会議の開催状況	
(1) 開催状況	5
(2) 評価・課題等	6
3 教育委員学校訪問の開催状況	
(1) 開催状況	6
(2) 評価・課題等	6
4 各委員会の開催状況	
(1) 開催状況	7
(2) 評価・課題等	7
5 令和7年度教育関係予算の状況	
(1) 教育関係の予算編成方針	7
(2) 教育関係の予算計上額	7
(3) 評価・課題等	8

II 教育等施策の執行に関する事項

1 保育行政の充実	
(1) 保育所の運営	9
(2) 放課後児童クラブの運営	10
2 学校教育の充実	
(1) 社会で生きる確かな学力の育成	
ア 確かな学力を育み、自立した生き方を支える教育	10
イ 社会の変化に対応し、新しい時代を切り開く力を育む教育の推進	11
(2) 豊かな心と健やかな体の育成	
ア 豊かな人間性を育む教育の推進	12
イ 心身の健やかな成長を促す教育の推進	13
(3) 信頼される学校づくりの推進	
ア 魅力ある学校づくりの推進	14
イ 学校における働き方改革の推進	15
3 社会教育の振興	
(1) 地域全体で子どもたちを守り育てる体制づくりの推進	
ア 家庭教育力の向上の推進	17
イ 地域で子どもたちを育てる環境づくりの推進	17
(2) 喜茂別町らしい生涯学習社会の実現	
ア 学んだ成果を活かす生涯学習の推進	18
イ 潤いのある地域づくりをめざす生涯学習の推進	18
ウ 文化・芸術活動の推進	19
エ 健康づくり、スポーツ活動の推進	19
オ 読書活動の推進	20

III 社会教育事業の点検・評価 21～34

I 教育委員会の活動状況に関する事項

1 教育委員会議等の状況

(1) 定例会・臨時会の開催状況

教育委員会定例会及び臨時会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下、「地教行法」という。）第14条により、教育委員会会議規則では月1回と定められており、令和7年度は下記のとおり開催した。

定例会では主に、教育行政の執行に関する基本的な方針の決定や要綱・要領等の改廃、教職員の人事異動や人事評価、児童生徒の学力・学習状況、体力・運動能力など様々な議題について審議を行った。

また、学校課題の改善や教育施策等の充実に向けた調整、研究及び協議等を行うため、定例会の開催に加え教育委員協議会を開催し、学校教育、社会教育における国や北海道の動向、本町教育の現状と課題などについての情報提供や意見交換により、教育委員会の審議の活性化に努めた。

定例会の開催状況	
開催期日	付議事件等
令和7年 4月30日 (定例会)	(議案) ・喜茂別町学校給食保護者負担支援事業実施要綱の制定について (報告・協議事項等) ・事務事業等の実施結果 ・喜茂別町教育委員会教育長職務代理者の指名について ・喜茂別町教育委員会教育長職務代行者の指名について ・喜茂別町教育委員会事務局職員の異動について ・喜茂別町社会教育委員の委嘱に係る専決処分に関し承認を求めることについて ・喜茂別町スポーツ推進委員の委嘱に係る専決処分に関し承認を求めることについて ・学校医・学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱に係る専決処分に関し承認を求めることについて ・喜茂別町学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処分に関し承認を求めることについて ・令和7年度第1回喜茂別町学校運営協議会について
5月30日 (定例会)	(議案) ・喜茂別町立学校教職員のカスタマーハラスメントへの対応ガイドラインの策定について (報告・協議事項等) ・事務事業等の実施結果

6月27日 (定例会)	(議案) ・喜茂別町立学校職員の在宅勤務実施要領の一部を改正する要領の制定について ・喜茂別町青少年スポーツ・文化育成助成金交付要綱の制定について ・青少年スポーツ・文化育成助成金の支給に関する規程を廃止する規程の制定について (報告・協議事項等) ・事務事業等の実施結果 ・令和7年6月期教職員勤勉手当の内申の専決処分に関し承認を求めることについて
7月30日 (定例会)	(議案) ・喜茂別町立学校教職員の交通事故等を起こした者に対する指導について (報告・協議事項等) ・事務事業等の実施結果
8月29日 (定例会)	(議案) ・令和6年度教育委員会の活動状況に関する点検・評価について ・令和7年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の公表について (報告・協議事項等) ・事務事業等の実施結果
9月30日 (定例会)	(議案) ・令和7年度全国学力・学習状況調査結果の公表について ・喜茂別町立学校における私物の端末・スマートフォン等の取扱いについて ・令和7年度喜茂別町文化貢献賞被表彰者の決定について (報告・協議事項等) ・事務事業等の実施結果 ・令和7年度教育関係補正予算（第1回）について
10月31日 (定例会)	(議案) ・喜茂別町教職員住宅施設管理規則の一部を改正する規則の制定について (報告・協議事項等) ・事務事業等の実施結果
11月28日 (定例会)	(議案) ・令和7年度教育関係補正予算（第2回）について (報告・協議事項等) ・事務事業等の実施結果 ・令和7年12月期教職員勤勉手当の内申の専決処分に関し承認を求

	めることについて ・令和７年度上半期の教職員の時間外在校等時間について
12月26日 (定例会)	(議案) ・令和８年学校職員の1月1日昇給の内申について (報告・協議事項等) ・事務事業等の実施結果
令和８年 1月30日 (定例会)	(議案) ・令和７年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の公表について (報告・協議事項等) ・事務事業等の実施結果 ・令和７年度教育関係補正予算（第３回）について
2月27日 (定例会)	(議案) ・令和７年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査の結果の公表について ・令和７年度喜茂別町文化貢献賞被表彰者の決定について ・令和７年度喜茂別町スポーツ貢献賞被表彰者の決定について ・令和７年度教育関係補正予算（第５回）について ・令和８年度教育行政執行方針について ・令和８年度教育予算について (報告・協議事項等) ・事務事業等の実施結果 ・令和７年度教育関係補正予算（第４回）について
3月30日 (定例会)	(議案) ・第２次喜茂別町教育振興基本計画を定めることについて ・喜茂別町立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画を定めることについて ・喜茂別町学校運営協議会設置規則の一部を改正する規則の制定について ・喜茂別町教育委員会事務委任規則の一部を改正する規則の制定について ・喜茂別町教育委員会就業規則の一部を改正する規則の制定について ・喜茂別町学校給食費保護者負担支援事業実施要綱の一部を改正する要綱の制定について ・喜茂別町青少年スポーツ・文化育成助成金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について ・喜茂別町立学校職員の自家用車の公用使用に関する要綱の一部を改正する要綱の制定について

	(報告・協議事項等) ・事務事業等の実施結果 ・令和8年度教職員の人事異動等の内申の専決処分に関し承認を求 めることについて
--	---

(2) 会議・行事等の状況

令和7年度は、教育委員会議のほか下記のとおり各種会議に出席し、教育委員会定例会で各事業の活動報告等について報告を受け、質疑や意見交換等を行った。

開催期日	諸会議・行事等
令和7年	
4月 3日	転入・新規採用教職員辞令交付式
7日	喜茂別小学校、喜茂別中学校入学式
10日	第1回後志管内市町村教育委員会教育長会議
17日	第1回喜茂別町学校運営協議会
18日	北海道町村教育委員会連合会第1回役員会
22日	公立高等学校配置計画地域別検討会議
5月 9日	後志特別支援教育連絡協議会総会・研修会
15日	北海道町村教育委員会連合会総会
16日	令和8年度文教施設要望陳情
31日	喜茂別中学校体育祭
6月 7日	喜茂別小学校運動会
18日	令和7年度後志町村教育委員会協議会総会
21日	喜茂別保育所運動会
7月 2日	後志町村教育委員会協議会教育長部会・後志小中学校長会合同研修
4日	共和町教育委員会ICT教育視察研修（喜茂別小学校）
10日	第2回後志管内市町村教育委員会教育長会議
17日	第60回北海道市町村教育委員会研修会
8月21日	後志町村教育委員会協議会教育長部会「夏季研修会」
9月 7日	第73回後志PTA研究大会・第36回子育て研修会喜茂別大会
19日	緊急不祥事防止対策会議
10月 4日	喜茂別中学校喜中祭
11日	喜茂別小学校学芸会
15日	北海道町村教育委員会連合会教育長部会研修会
17日	後志管内町村教育委員研修会
27日	第76回喜茂別町文化祭（11月2日まで）
11月 4日	令和8年度当初教職員人事に係る人事協議
7日	第2回喜茂別町学校運営協議会
15日	喜茂別保育所発表会
12月 2日	後志町村教育委員会協議会教育長部会・後志小中学校長会合同研修

令和8年	24日	第3回後志管内市町村教育委員会教育長会議
	1月11日	喜茂別町成人式
	2月5日	北海道町村教育委員会連合会第2回役員会
	18日	第4回後志管内市町村教育委員会教育長会議
	3月5日	第3回喜茂別町学校運営協議会
	13日	喜茂別中学校卒業式
	20日	喜茂別小学校卒業式
	21日	喜茂別保育所卒園式

(3) 評価・課題等

令和7年度の教育委員会定例会は、12回開催した。定例会において、教育に関する基本的な方針については、喜茂別町立学校教職員のカスタマーハラスメントへの対応ガイドラインの策定、喜茂別町立学校における私物の端末・スマートフォン等の取扱い、第2次喜茂別町教育振興基本計画を定めること、喜茂別町立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画を定めること、令和8年度教育行政執行方針などを審議し方針を決定した。

教育委員会規則等の制定又は改廃においては、喜茂別町学校給食費保護者負担支援事業実施要綱の制定、喜茂別町青少年スポーツ・文化育成助成金交付要綱の制定、喜茂別町教職員住宅施設管理規則の一部改正など、制度制定等に伴う規則・要綱等の制定並びに改廃について審議し決定した。

その他に、各種委員の委嘱、教育予算その他議会の議決を経るべき案件の審議、教育委員会職員並びに教職員の人事に関すること、全国学力・学習状況調査等の結果公表に関することなどを審議し決定した。

会議の形態については、教育委員へのタブレット PC 配布により会議の円滑化や議案等作成に係る事務の軽減を図りつつ、議案参考資料の配信などに取組み、多くの関連資料を提供することで審議の充実努めた。

学校行事については、入学式や卒業式、運動会・体育祭、学芸会・喜中祭など通常どおり開催された。

各委員は、教育委員会議のほか、町内の学校行事や各種会議・研修会に出席し、町の教育活動全般への理解を深めるとともに、教育課程や予算執行状況等について報告を受け、質疑応答や意見交換を行った。

今後の課題として、引き続き教育委員が教育行政全般について、より多角的な視点から議論できる機会を設ける必要がある。また、会議の効率化と質的向上を図るため、事前資料の充実や意見交換の時間を十分に確保するなど、会議の充実を図る必要がある。

2 総合教育会議の開催状況

(1) 開催状況

地教行法第1条の3第1項の規定に基づき、町の教育に関する大綱の策定及び教育行政の推進を図るため、町長と教育委員会との協議・調整の場である総合教育会議につい

て、次のとおり実施した。

開催期日	協議事項等
令和8年2月27日	・第2次喜茂別町教育振興基本計画の策定状況について ・町立学校における教育職員に係る時間外在校等時間の状況について ・給特法の一部を改正する法律の施行に伴う、業務量管理・健康確保措置実施計画の策定状況について ・学校給食費の抜本的な負担軽減（いわゆる給食無償化）について ・令和8年度の喜茂別小学校における4年、5年生の複式学級対応について

(2) 評価・課題等

令和7年度の総合教育会議では、第2次喜茂別町教育振興基本計画の策定、給特法の一部を改正する法律の施行に伴う業務量管理・健康確保措置実施計画の策定、学校給食費の抜本的な負担軽減、喜茂別小学校における複式学級の対応など、町長と教育委員会が十分に意思疎通を図り、教育の課題やあるべき姿を共有する必要があることから、本会議を開催し協議を行った。

今後は、総合教育会議の定期開催に努めながら、教育の課題及び目指す姿を町長と共有し、様々な教育課題について協議を行い、連携して効果的に教育行政を推進する必要がある。

3 教育委員学校訪問の開催状況

(1) 開催状況

教育委員は、所管する保育所、小・中学校を訪問し、保育、教育活動全般について下記のとおり視察を行った。なお、当日は町議会総務常任委員会所管事務調査と合同開催となった。

開催期日	協議事項等
令和7年11月28日	・保育所における取組全般について ・学校経営方針とその進捗状況について ・授業の進捗状況について ・ICTを効果的に活用した授業等について ・教職員の働き方改革の取組状況について

(2) 評価・課題等

保育所訪問では、保育参観を通じて日ごろの保育の取組みや保育環境を視察するとともに、懇談を行い現状や課題などを直接聞き取ることができた。

学校訪問では、各学校における学校運営方針やランドデザイン、学校評価や学力向

上の具体的な目標と方策等の説明により、教育活動の実践状況と学校課題について、現場の課題やニーズを直接聞き取ることができた。また、学校による説明、授業参観を通して各学校において進めている ICT の効果的活用による「個別最適な学び」と「協働的学び」の一体的な充実を図るための授業改善、地域との連携・協働などの教育課題改善の方向性について教育委員が共通認識を持つことができた。

今後の課題として、学校訪問の工夫改善により、現場の声を教育行政に反映する仕組みを強化する必要がある。

4 各委員会の開催状況

(1) 開催状況

教育委員会所管の各種委員会について、令和7年度の開催状況は下記のとおりである。

名 称	委員数	会 議 の 開催回数	審議事項
社会教育委員会議	6	3	・ 令和 7 年度喜茂別町社会教育推進計画及び関連予算について ・ 令和 7 年度における実施事業について ・ 学校行事の年間計画について ・ 社会教育施策の点検評価について
スポーツ推進委員会議	5	2	

(2) 評価・課題等

令和7年度は、社会教育委員会議を年3回、スポーツ推進委員会議を年2回開催した。

各委員会では、青少年教育や芸術文化の振興、体験教室の開催によるスポーツに対する意識の向上などの協議を行った。今後は、委員会で出された意見を事業の改善に結びつけていく必要がある。また、各委員会の活動内容を町民に情報公開し、町民の意見を委員会の運営に反映させる仕組みを検討する必要がある。

5 令和7年度教育関係予算の状況

(1) 教育関係の予算編成方針

令和7年度当初予算は、保育所等の運営、小・中学校の教育環境の充実や社会教育施策の実施など、教育行政執行方針で述べた本町における教育の振興を図るための予算を確保するとともに、効果的・効率的な行政執行に努めることを基本として予算編成を行った。

(2) 教育関係の予算計上額

令和7年度教育関係の最終予算額は、次のとおりである。

(単位:千円)

款・項・目	予算額	款・項・目	予算額
3 款 2 項 児童福祉費	26,370	10 款 3 項 中学校費	27,145
(1) きもべつ笑み～な運営費	12,351	(1) 学校管理費	26,457
(2) 保育所運営費	13,842	(2) 教育振興費	688

(4)放課後児童対策費	177	10款4項 社会教育費	4,274
10款1項 教育総務費	159,346	(1)社会教育総務費	2,800
(1)教育委員会費	1,686	(2)生涯学習推進費	1,474
(2)事務局費	157,660	10款5項 保健体育費	6,923
10款2項 小学校費	28,687	(1)保健体育総務費	6,640
(1)学校管理費	28,133	(2)生涯体育推進費	283
(2)教育振興費	554	合 計	252,745

教育関係の最終予算額は、252,745 千円(前年度 200,446 千円)となり、一般会計総額の 7.3%(前年度 6.4%)を占めている。前年度予算額から 52,299 千円の増額となった。

増額の主な要因としては、教員住宅新築工事、喜茂別小学校トイレ洋式化改修工事、喜茂別町公立学校情報機器購入等によるものである。

(3) 評価・課題等

教育行政を推進するための教育関係予算については、所要の予算を確保した。今後は、予算の執行状況を確認し、効果的な予算運用を図り限られた財源の中で、より優先順位の高い事業に重点的に予算を配分できるよう、費用対効果の観点から評価を強化する必要がある。

Ⅱ 教育等施策の執行に関する事項

令和7年度教育行政の執行方針に基づいて実施した施策や事務事業等に関する点検評価結果は次のとおりである。

1 保育行政の充実

(1) 保育所の運営

取組の概要	【執行方針】 ・全体計画に基づいた一貫性・連続性のある計画的な保育の実践 ・子ども一人一人の発達過程に応じた保育 ・生活や運動、遊びなどの経験を通じた学びの実践による小学校への円滑な接続 【取組】 ・感染症予防の基本となる手洗い・うがいの励行による予防対策を引き続き行うとともに、各保育士との連携を密に行い安全安心な保育を行った。 ・必要な病児・病後児保育については、継続して実施した。 ・個別に支援が必要な子どもについて、保育士の加配を行い対応した。 ・小学校への入学にあたり、保育所と小学校の連絡体制を密にし円滑な接続を行った。
評価・課題等	【評価】 ◎保育所内での感染症対策、熱中症対策を進めるとともに、発育に合わせた保育、学習、運動に取り組むことができた。 ◎個々の成長を見守るとともに、個別に支援が必要な子どもへ適切な支援やサポートができるよう関係機関と連携し取り組みを進めることができた。 【課題】 ○就労環境の変化等による保育ニーズの多様化に対応するため、職員全員が目指す保育を共有し、協働性の高い職場環境を維持・向上させていく必要がある。 ○保育士、保護者と感染症について理解を進め、蔓延しないような取り組みや、安全安心に過ごせるよう環境整備を進めていく必要がある。 ○保育室へのエアコン設置は完了したが、次年度の主食提供に向け、食中毒防止対策や労働環境改善のため厨房へのエアコン設置が課題である。

(2) 放課後児童クラブの運営

取組の概要	【執行方針】 ・子どもたちの放課後の安全確保（居場所づくり） ・タブレットを活用した自主的な学習の場、遊びや体験的学びの場として運営
	【取組】 ・タブレットを活用した自主学習や遊びを通じて、放課後時間の有効活用が図られ子育て家庭への支援を行った。 ・子どもたちの安全対策や活動場所の充実に向け、中学校体育館の空き時間を利用し、体育館を活用した運動の取組みを行った。
評価・課題等	【評価】 ◎エアコン設置により、安全で快適に児童が過ごすことにつながった。 ◎体育館など活動場所が広がり冬期間でも体を動かす取組みを進めることができた。
	【課題】 ○体育館等の利用により放課後児童クラブの活動範囲が広がったが、今後も引き続き安全対策や熱中症対策に取り組んでいく必要がある。

2 学校教育の充実

(1) 社会で生きる確かな学力の育成

主要項目	ア 確かな学力を育み、自立した生き方を支える教育
取組の概要	【執行方針】 ・ＩＣＴ環境を効果的に活用した授業改善及びカリキュラム・マネジメントの確立 ・校内外研修や先進地視察研修による教員の資質・能力の向上 ・義務教育９年間を見通した一貫性、連続性のある指導 ・個々の学力や学習状況に応じたきめ細かな指導 ・目標をもって主体的に学習に取り組む態度の育成による、学習意欲の向上と基礎的な知識・技能の定着 ・特別な支援を必要とする児童生徒に対する個々の発達段階に応じた指導のための支援員の配置
	【取組】 ・タブレット、デジタル教科書、電子黒板機能付き大型投影機（ワイード）などを効果的に活用し、子どもたちの興味・関心や学習意欲を高め分かりやすく深まる授業づくりに取り組んだ。

	・授業改善に向け教職員による道外視察１名、ICT 視察研修２名参加するとともに校内研修、授業交流を積極的に行った。 ・小学校６学年社会科において、中学校社会科教員による乗り入れ授業の実施や義務教育９年間を見通したグランドデザインの検討などの取組みを行った。 ・出席停止等の児童・生徒へのタブレット型ＰＣの持ち帰り、オンラインによる授業などを行い、学びの保障に向けた取組みを行った。 ・小学校に４名、中学校に１名の特別支援教育支援員を配置し、きめ細やかな支援を行った。 ・中学校では、各種学力調査の結果をもとに、課題となる教科（数学）に次年度に向け引き続き教職員の加配を要望した。
評価・課題等	【評価】 ◎これまで取組みを進めてきた授業への ICT 活用の定着が進み、教員の能力の向上や新しい学習サイクルの実践、学習ソフトによる個別最適化された学習、デジタル教科書の実証などわかりやすく深まる授業づくりを進めることができた。 ◎小中連携した授業づくりや学校運営に努め、義務教育９年間を見据えた小学校・中学校の指導環境の構築が図られた。 【課題等】 ○「個別最適な学び」「協働的学び」の一体的充実による「主体的・対話的で深い学び」の実現を図るため、整備された ICT を活用した確かな学力の育成を進め、探究的な学習の推進や協働的な学びの充実を図る必要がある。 ○義務教育９年間を見通した連続性のある学びと指導の充実に向け、引き続き学校間の小中一貫教育の取組みや教育委員会での議論を深めていく必要がある。
主要項目	イ 社会の変化に対応し、新しい時代を切り開く力を育む教育の推進
取組の概要	【執行方針】 ・人と環境の関わりについて正しい知識を持ち主体的に行動できる人材の育成に向けたＳＤＧｓの視点による環境教育 ・子どもの発達段階に応じた多様性の尊重や価値観の異なる他者との共生の実現に向けた人権教育 ・地域人材や外部人材を活用した体験的な環境教育の推進 ・タブレット、学習ソフトの更新によるＩＣＴ環境の整備 ・タブレットを活用した情報教育の充実 ・小学校におけるトイレの洋式化

	【取組】 ・各学校において、社会の変化に対応する教育として、SDGsの視点による環境教育、人権教育、地域人材や外部人材を活用した体験的な学習を実施した。 ・児童生徒用タブレット、学習ソフトの更新を行うとともに、情報モラル教育について、適切な情報発信やトラブル事例の学習を通じ、子どもたちが安心してデジタル社会を生きていく力を身につける取組みを行った。 ・学校施設について、生活様式の変化に対応し、小学校の和式トイレの洋式化工事を実施した。
評価・課題等	【評価】 ◎各学校とも環境教育、人権教室や情報教育など予定していた授業を実施することができた。 ◎ICT環境の維持向上のため児童生徒用タブレットの更新やトイレ洋式化による学校施設の改善が図られた。 【課題等】 ○子どもたちが社会や地域の課題を自分事として捉え、考え行動する力を育てるため、引き続き環境教育、人権教育、ICT活用能力の育成などを進める必要がある。 ○教職員研修や授業支援、タブレット型PCの保守・管理、新たな学習コンテンツの情報収集及び導入に関する助言等を行うなどICT支援体制の充実が必要である。

(2) 豊かな心と健やかな体の育成

主要項目	ア 豊かな人間性を育む教育の推進
取組の概要	【執行方針】 ・自分の考えを基に話し合う活動や教員が児童生徒の成長を積極的に受け止めて、認め、励ますことにより、児童生徒に自らの成長を実感させる学習活動の充実 ・教科横断的な教育活動全体を通じた組織的・計画的な道德教育の推進 ・地域の自然環境や歴史、伝統、文化、産業等について理解を深める総合的な学習活動の充実 ・地域社会の一員としての意識やふるさとの愛着や誇りを育み、地域の将来を担う人材を育てる教育の推進 【取組】 ・豊かな心の育成のため、自己肯定感や他者を思いやる心を育てるため、道德や特別活動などを通じて、思いやり、協力、正義感

	などの価値に触れる教育活動を行った。 ・生徒指導や教育相談の充実、スクールカウンセラーの定期訪問により、いじめや不登校の早期発見・早期対応を行った。
評価・課題等	【評価】 ◎地域資源、地域人材の活用や学校における生徒指導や教育相談の充実に努め、道徳教育推進教師が中心となって道徳の授業を公開する取組みを行うことができた。 ◎地域人材の活用による地域の自然、歴史、文化などについて学ぶ機会の充実により地域の魅力や課題を知り、ふるさとへの愛着や誇りを育む教育を推進することができた。 【課題等】 ○生徒指導や教育相談の充実、多様な感じ方考え方に触れる機会を設け、対話を重視した授業やグループ活動を取り入れた学習活動の充実が必要である。 ○地域は豊かな教育資源であり、学校と地域が連携することにより、子どもたちの体験活動の充実や学びの深まりに大きく寄与する。地域人材を活用した授業・体験活動を充実させていく必要がある。
主要項目	イ 心身の健やかな成長を促す教育の推進
取組の概要	【執行方針】 ・「どさんこ元気アップチャレンジ」への参加、社会教育等と連携した各種スポーツ教室や自然体験活動、新体力テストの活用による自己の体力の現状を踏まえた体力向上の取組みを推進 ・外部講師等を招いての健康に関する講話や栄養教諭による食事マナー、健康改善に関する授業など健康・安全・食に関する資質・能力（健康リテラシー等）の育成を推進 ・学校給食費2分の1補助による保護者負担の軽減 【取組】 ・各学校とも「どさんこ元気アップチャレンジ」に取組むとともに、新体力テストを実施し、課題把握・分析を行い児童・生徒の体力向上に取組んだ。 ・児童生徒が興味・関心に応じて運動に参加できる機会を、社会教育事業と連携し実施した。 ・栄養教諭による食と健康に関する授業を行い、各学校での食育に関する取組みを進めた。 ・児童生徒の適切な食習慣を身に着けることや給食材料費の高騰を受け、町独自の対応として学校給食費2分の1補助による保護者負担軽減の取組みを行った。

	・各学校において「生活リズムチェックシート」に取組み、長期休業期間中の安定した生活リズムの習慣化に努めた。
評価・課題等	【評価】 ◎子どもの健やかな成長に向けた、生活習慣の確立や運動習慣、体力の向上に向けた取組みを行うことができた。 ◎他町村の動向や国の動きを踏まえ、小・中学校での学校給食費2分の1補助を実施することができ保護者の負担軽減を図ることができた。
	【課題等】 ○全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果に基づき、課題となっている体力向上の取組みを引き続き進める必要がある。 ○学校教育で補えない取組みについて社会教育事業を活用し、地域のスポーツ施設や指導者と連携し、引き続き多様な運動機会を提供する必要がある。 ○学校給食や食育授業を通じた食に関する指導の充実や国の学校給食費無償化に向けた動向を注視しつつ、次年度の本町の取組みを進める必要がある。

(3) 信頼される学校づくりの推進

主要項目	ア 魅力ある学校づくりの推進
取組の概要	【執行方針】 ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な充実。 ・学校と地域がパートナーとして相互に学び合うことのできる「地域とともにある学校づくり」の推進 ・学校評価に基づく学校力の向上 ・教育委員と学校運営協議会合同会議による学校課題と改善に向けた取組みの共有化
	【取組】 ・コミュニティ・スクール活動を充実し、地域資源や地域人材との積極的な連携協力による「地域とともにある学校づくり」を行った。 ・学校だよりやホームページ等を活用し学校情報の周知、地域住民への授業公開など開かれた学校づくりを進め、地域と連携した取組みを行った。 ・教育委員と学校運営協議会委員による学校評価合同会議の開催による多角的な学校評価を実施した。 ・学校経営の改善に当たっては、年2回後志教育局義務教育指導監・指導主事の学校訪問による指導等により学校経営の改善に取組んだ。

評価・課題等	【評価】 ◎学校運営協議会活動の充実により、読み聞かせや特別授業など地域住民が学校運営に参画する機会が図られた。 ◎保護者だけではなく教育委員、学校運営協議会による学校評価の取り組みや後志教育局の指導による学校運営の改善が図られた。 【課題等】 ○魅力ある学校づくりを進めるため、学校運営協議会の体制整備・機能強化を図る必要がある。 ○本町の地域資源を地域の協力を得ながら学びに取り入れることで、魅力ある学校づくりにつなげていく必要がある。 ○学校の教育活動や計画をより分かりやすく示し、透明性の高い運営を行うとともに、日常的なコミュニケーションを充実させ、行事や授業公開の機会を拡充することで保護者・地域とのつながりを深める必要がある。
<u>主要項目</u>	イ 学校における働き方改革の推進
取組の概要	【執行方針】 ・定時退勤日の実施や休暇の取得促進、変形労働時間制の適用等によるワークライフバランスを意識した働き方の推進 ・クラウドサービスやデジタル教材、校務支援システムなど、ICTを積極的に活用した教育活動や業務の推進 【取組】 ・「第3期学校における働き方改革行動計画」に基づき、定時退勤日の実施、長期休業期間中の学校閉庁日の設定をはじめ、ICTの積極的な活用による教育活動や業務の推進など、各種取組みを行った。 ・昨年成立した公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法第8条に基づき、これまでの「第3期学校における働き方改革行動計画」を見直し、令和8年度から令和10年度までの計画期間である「喜茂別町立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」を策定し、時間外在校等時間の縮減等に取り組んだ。 ・教員の働き方改革に関連した取組みとして、老朽化が進んでいた喜茂別小学校校長及び教頭住宅について、居住環境改善のため新たに1棟2戸の教職員住宅を建設し教員の住環境整備を行った。

評価・課題等	【評価】 ◎各学校において教職員業務の見直しと業務負担軽減策の導入が進められ、定時退勤日の導入、休暇の取得促進、部活動休養日の設定、長期休業期間中の学校閉庁日の実施などの取組みを進めることができた。 ◎これまでの行動計画の施策により、小・中学校では目標とする教職員の時間外在校時間1か月あたりの上限時間（45時間）内となり、取組みの成果が表れている。 ◎教職員住宅建設による教員の住環境の改善が図られた。
	【課題等】 ○教職員の時間外在校時間については、減少傾向にあり効果が表れているが、教職員の負担軽減には引き続き取り組む必要がある。 ○中学校においては、部活動に係る在校時間が課題となっており、文部科学省が令和5年度以降に求めている部活動の地域移行について、引き続き町内スポーツ団体や近隣町村との連携も含めた検討が必要となっている。

3 社会教育の振興

(1) 地域全体で子どもたちを守り育てる体制づくりの推進

主要項目	ア 家庭教育力の向上の推進
取組の概要	【執行方針】 ・親子が気軽に参加しながら地域とのつながりをつくることのできる事業の実施 ・家庭における教育力を向上に向けた環境づくりの推進
	【取組】 ・親子で参加しやすい取り組みや親同士のつながりを促進するため、読み聞かせ「おはなし会」、図書まつり、ブックスタート事業に取組んだ。
評価・課題等	【評価】 ◎図書まつり・ブックスタートなど各事業を通じて、図書室の利用者の増加に結びつけ、読書習慣の形成に努めることができた。 ◎読み聞かせ事業を継続し、幼児から小学校期において本に触れる機会の醸成を図ることができた。
	【課題等】 ○読書活動推進委員など、事業の安定的な運営や新たな事業展開に関わる人材を確保・育成することが課題である。
主要項目	イ 地域で子どもたちを育てる環境づくりの推進
取組の概要	【執行方針】 ・学校と地域をつなぐコーディネーターによる歴史や文化、芸術、スポーツの伝承 ・学校が地域コミュニティの核となる環境づくりの推進 ・小中学生の地域イベントへの参画等による郷土への愛着の醸成
	【取組】 ・学校運営協議会において、学校における総合的な学習の時間等に地域住民が参画し、学校との協働による取組みを行った。 ・子どもたちに学校以外での学びの場づくりを通じて、学習習慣の定着や学力向上に向けた取組みを行った。 ・関係機関と連携した子どもたちの安全確保に関する取組みを進めた。
	【評価】 ◎学校運営協議会活動により、保護者、地域住民、関係機関などが参画し、学校を核とした取組みを進めることができた。 ◎子どもたちの安全・安心を構築する体制づくりの推進に向け、学校運営協議会での熟議などに取組んだ。

評価・課題等	【課題等】 ○学校教育を補完し、本町の児童生徒の学習ニーズに対して必要な事業・環境づくりと利用の促進を図る必要がある。 ○学校運営協議会の充実による地域教育の充実と郷土愛の醸成を進める必要がある。 ○事業の安定的な運営や新たな事業展開に関わるボランティア、指導者を確保することが課題となっている。
--------	--

(2) 喜茂別町らしい生涯学習社会の実現

主要項目	ア 学んだ成果を活かす生涯学習の推進
取組の概要	【執行方針】 ・高齢者向けのスマートフォン教室や、中学生を対象としたジュニアリーダー事業の実施 ・歴史アーカイブ事業などの実施
	【取組】 ・スマートフォン教室やジュニアリーダー事業に取組んだ。 ・総合的な学習における地域学校活動事業に取組んだ。
評価・課題等	【評価】 ◎本年度聞き書き集事業はできなかったが、その成果を学校授業等で活用することができた。
	【課題等】 ○住民ニーズと、学んだ生活を生かす生涯学習事業のマッチングが課題である。 ○学校の学習ニーズに対する人材の確保、より充実した地域学校協働活動の推進が必要である。
主要項目	イ 潤いのある地域づくりを目指す生涯学習の推進
取組の概要	【執行方針】 ・多様な分野の施策と連携した「つながりづくり」、「地域づくり」を推進 ・町内の社会教育施設の維持・管理及び機能充実を図りながら、各世代に合った学習機会の提供 ・各団体同士の連携による質の高い事業の実施
	【取組】 ・町文化団体、体育協会、スポーツ少年団等関係団体の活動支援を行った。 ・農村環境改善センターの文化団体・サークル等利活用の促進、武道館・図書室の利用促進に取り組んだ。 ・各団体とスポーツレクリエーション事業の連携協力を進める

	ことができた。
評価・課題等	【評価】 ◎住民が主体となって事業に取り組む各種生涯学習活動に対し、活動支援及び連携強化を進めることにより活動の活性化につながられた。
	【課題等】 ○社会教育関係団体の高齢化、会員数の減少などに対するサポート体制の検討などを進める必要がある。 ○住民ニーズに沿った事業展開の検討や、各分野において特技のある人材を登録し活用する生涯学習ボランティアバンクの充実並びに利用拡大に向けた取組みを進める必要がある。
主要項目	ウ 文化・芸術活動の推進
取組の概要	【執行方針】 ・喜茂別町文化祭の開催による多くの団体・個人による活動成果の発表の場づくり ・芸術鑑賞会やまちの歴史・文化に触れる歴史探訪事業などの開催による体験機会の創出
	【取組】 ・小・中学校芸術鑑賞会、町文化祭、郷土史研究団体との協働による歴史探訪など町民が様々な芸術・文化や喜茂別町の歴史に触れる機会の創出などの事業を行った。
評価・課題等	【評価】 ◎学校と連携し、芸術鑑賞会を実施することにより、優れた芸術・文化に触れる機会が図られ豊かな人間性を育み、想像力や感性を高める取組みを行うことができた。 ◎町文化祭は、町民が日頃の成果を発表する場であり、子どもから大人まで地域全体で文化意識が高まった。
	【課題等】 ○質の高い芸術文化に触れる機会の創出や地域に伝わる伝統文化の継承活動への支援が必要である。 ○町民が気軽に文化芸術に触れ、発表できる文化祭の開催について内容の充実を図る必要がある。
主要項目	エ 健康づくり、スポーツ活動の推進
取組の概要	【執行方針】 ・様々な世代のライフステージに合わせた各種スポーツ教室・大会及びレクリエーションの開催による運動意識の醸成 ・関係部署並びに団体等との連携による、住民ニーズに沿ったスポーツ機会の創出

	【取組】 ・町体育協会、スポーツ少年団への支援によるスポーツ活動の普及・啓発を行った。 ・フットパス、スキー及び剣道教室をはじめ様々な世代に参加しやすい取組みを進め、町民に運動する機会を提供した。
評価・課題等	【評価】 ◎スポーツ推進委員や各団体と協働した各種スポーツ教室の開催によるスポーツ機会の提供など、予定していた事業に取り組むことができた。 ◎プール、武道館、体育館開放などにより、施設の利活用を図り町民の健康・体力づくりを図ることができた。
	【課題等】 ○ボランティアや指導者など、スポーツ活動を支える人材の確保・育成が課題である。 ○学校教育を補完し本町の児童生徒のスポーツ活動に対して必要な事業・環境づくりと利用の促進を図る必要がある。 ○中学校における運動部活動の地域移行といった、新たな課題に対応する人材を含めた地域の受け皿づくりが課題である。 ○町水泳プールの老朽化に対する対応が課題である。
主要項目	オ 読書活動の推進
取組の概要	【執行方針】 ・読書活動推進員による読み聞かせや図書まつり・企画展の実施 ・図書貸出システムの導入による図書室の開館時間の拡充
	【取組】 ・読書活動の促進のため、読書活動推進員による、保育所、小学校、図書室などで読み聞かせ活動の実施による読書機会の確保など予定していた事業を取組んだ。 ・図書まつり、ブックフェスティバルの開催、道立図書館との連携や教育委員会事務所の移転による利用機会の拡大など、図書室の利用促進の取組みを行った。
評価・課題等	【評価】 ◎図書管理・貸出システム導入による、蔵書管理・登録・貸出等の作業の効率化、開館時間の拡大が図られた。 ◎読書活動推進員によるブックフェスティバルの開催、図書まつりの開催など読書活動の充実が図られた。
	【課題等】 ○住民のニーズを踏まえた図書の充実や企画展の開催など、図書室の利用促進を図ることが課題である。 ○読書活動推進員など読書活動を支える人材の発掘・育成、事業

等の充実が課題である。

Ⅲ 社会教育事業の点検・評価

社会教育事業については、社会教育委員会議及びスポーツ推進委員会議において学校教育との関連も含めて、事業ごとに評価を実施しており、評価結果は次ページのとおりである。

事業の領域	家庭教育力の向上の推進
-------	-------------

No.	1
事業名	読み聞かせ「おはなし会」
実施年月日	令和7年4月～令和8年3月 各小学校、保育所、子育て支援センター、放課後児童クラブ等で定期実施
事業の目的	絵本の読み聞かせ等の鑑賞を通して子ども達の豊かな感性や情操心を培い、親子が本に触れる機会を設ける。
事業の概要	町読書活動推進員が、対象幼児・児童の発達年齢に合わせて絵本を選書し、読み聞かせや手あそびなどを行う。
参加状況	各施設の利用者及び小学生
事業の成果	定期的な読み聞かせを行うことにより、ほかの対象者と一緒に参加することで共感力を高めることができた。子どもの聞く力・文章理解力・想像力等、国語力及び感性を育むことに大きく寄与している。また、参加者と地域住民の交流の場としての役割も大きい。
その他	主管：読書活動推進員
評価	
読み聞かせをきっかけに、読書に興味を持ち、自ら本を手にとって読むという能動的な読書活動に結びついている。	
判定	
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 継続 ☐ 休止 ☐ 再考 ☐ 廃止	

No.	2
事業名	ブックスタート
実施年月日	令和7年4月～令和8年3月 4半期ごとの乳児健康診査に併せて実施 町内各所
事業の目的	赤ちゃんと保護者が絵本を介してゆっくり心触れ合うひとときを持つきっかけをつくり、ふれあう楽しさを知ってもらう。
事業の概要	赤ちゃんとその保護者に絵本などのブックスタートパック及び図書室貸出利用カードを手渡し、読書活動推進員による読み聞かせを行う。
参加状況	対象者8名 ※未実施者は次年度実施
事業の成果	本事業をきっかけに、多くの家庭で絵本の読み聞かせが行われ、親子間のふれあう大切さの理解につながっている。 図書利用カードを手渡すことで、その後の図書室利用拡大につながっている。
その他	協力：読書活動推進員
評価	
ブックスタートをきっかけに、町図書室や子育て支援センターの利用が増え、保護者と地域のつながりができている。	
判定	
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 継続 ☐ 休止 ☐ 再考 ☐ 廃止	

事業の領域		地域で子どもたちを育てる環境づくりの推進	
No.	1		
事業名	スマイル塾開放事業		
実施年月日	令和7年4月～令和8年3月 図書室利用時間内 スマイルセンター3階		
事業の目的	生徒の学校以外での学習環境の提供と、学習習慣の定着及び学力の向上を図る。		
事業の概要	スマイル塾内に設置したタブレット型PCにより、インターネット上で展開している有名塾による主要5科目の単元別の授業動画を視聴しながら関連ドリルを用いて自主学習する。中学生を対象に実施する。		
参加状況	ID登録数（10ライセンス）での参加		
事業の成果	スマイル塾IDを10ライセンスで契約し、アカウント一覧を配布し、自宅またはスマイル塾で学習が可能。 夏期、冬期休業中に開催している学習会に使用し、効率的な学習に努めることができた。		
その他			
評価		判定	
GIGAスクール構想により小中学生は端末を所有していることから、スマイル塾の運営においても時代にあわせた利用方法を検討する必要がある。		☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 継続 ☐ 休止 ☐ 再考 ☐ 廃止	

No.	2		
事業名	少年教室「わんぱく道場」科学館へ行こう		
実施年月日	令和7年9月15日（月） 午前8時30分～午後4時00分 札幌市青少年科学館		
事業の目的	楽しみながら科学に触れることにより、科学に対する関心や興味を深め、創造性豊かな青少年の育成を図る。		
事業の概要	参加者は、青少年科学館入館後、自由見学の時間を設け、体験型の展示物や実験、実演展示物などを楽しむとともに、プラネタリウム観覧を行う。		
参加状況	参加者25名（小学生17名、中学生5名、引率者3名）		
事業の成果	参加者は、興味を持った展示物等を熱心に見学し、体験を通じて楽しみながら学ぶことで、科学についての興味・関心を高めることができた。		
その他			
		評価	判定
本事業への関心が高いことから、見学の機会を講じることとしたい。			☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 継続 ☐ 休止 ☐ 再考 ☐ 廃止

事業の領域		地域で子どもたちを育てる環境づくりの推進	
No.	3		
事業名	第60回健康づくりラジオ体操会（早寝早起き朝ごはん推進事業）		
実施年月日	令和7年7月1日(火)～ 8月19日(火) 大町ちびっこ広場		
事業の目的	ラジオ体操を通じて、町民の健康づくりを図るとともに、子どもの基本的な生活習慣確立・生活リズム向上を図る。北海道教育委員会「早寝早起き朝ごはん」運動も兼ねている。		
事業の概要	午前6時30分のNHKラジオ体操放送にあわせて実施する。終了後、参加した子どもたちにラジオ体操カードにスタンプを押印し継続した参加を促す。		
参加状況	参加者延べ1,062名（大人458名、子ども604名）		
事業の成果	子どもの規則正しい生活習慣・運動習慣の定着、健康増進に繋がっている。また、子どものほかに幅広い年齢層の方の参加があり、参加者同士のコミュニケーションにもつながった。		
その他	主管：スポーツ推進委員 後援：町体育協会		
評価		判定	
人口減少等に伴い、参加者数が減少傾向であるが、夏場の規則正しい生活習慣の定着と住民同士の交流の場として、好評を得ている。		☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 継続 ☐ 休止 ☐ 再考 ☐ 廃止	

No.	4		
事業名	少年教室「わんぱく道場」スケート体験		
実施年月日	令和8年2月11日(水) 午前8時00分～午後2時00分 泊村アイスセンター「とまりんく」		
事業の目的	ウィンタースポーツの代表的な種目のアイススケートに触れてみることを目的とし、スケート技術の習得や体力向上を図る。また、参加者同士の交流を深める。		
事業の概要	参加者はレンタルのスケート靴・防具等の着用・準備運動を行い、スケート体験を行うとともに、自由滑走のほかミニゲームを実施する。		
参加状況	参加者34名（未就学児4名、小学生21名、中学生4名、保護者5名、引率3名）		
事業の成果	参加初心者については、最初は転ばないよう慎重に滑っていたが、経験者と一緒に滑ることにより終盤には上手に滑れるようになっていた。経験者は「もっと上手になりたい」と向上心を持って取り組む姿勢が見られた。		
その他			
評価		判定	
未就学児も参加対象としたことにより、親子参加が増加した。様々なスポーツに取り組むことにより、運動への興味を醸成している。		☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 継続 ☐ 休止 ☐ 再考 ☐ 廃止	

事業の領域		地域で子どもたちを育てる環境づくりの推進	
No.	5		
事業名	子ども水泳教室		
実施年月日	令和7年7月30日(水)～8月1日(金) 午後1時45分～午後3時00分 町水泳プール		
事業の目的	水に親しみ、泳ぐことの楽しさを感じてもらうとともに、参加者同士の交流を図る。		
事業の概要	小学生低学年（1～3年生）対象で実施。準備体操後、泳力に応じて3クラス（A・B・C）に分けて指導を行う。水に慣れるところから、ビート板、クロール、息継ぎまで、一つ一つの動作を段階別に指導する。		
参加状況	1日目：参加者22名・指導者7名 2日目：参加者17名・指導者6名 3日目：参加者15名・指導者5名		
事業の成果	参加者の能力に合わせて指導することにより技術的な向上が全体でみられた。けが人などなく、参加者には安心・安全な環境で学ぶことができた。		
その他	主管：スポーツ推進委員		
		評価	判定
小学校水泳授業の補完的役割もあり、保護者、学校からの開催要望が高い事業である。		☐ 拡大 ☒ 継続 ☐ 再考	☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止

No.	6		
事業名	スマイル塾夏休み・冬休み学習会(小学4・5・6年生)		
実施年月日	夏期：令和7年7月28日(月)～29日(火) 冬期：令和8年1月8日(木)～9日(金)		
事業の目的	小学生に長期休業中の学習機会を提供することによる学習習慣の定着及び長期休業中の望ましい生活習慣の定着を図る。		
事業の概要	小学校から配布される夏休み・冬休みのドリルやスマイル塾のプリント、持ち込みの問題集等を用い、既習内容の復習を自習形式で進める。教育委員会職員が採点及び間違えた問題の解説等補助を行う。		
参加状況	夏期：参加者21名 講師(中学生6名) 冬期：参加者11名 講師(中学生3名・高校生1名)		
事業の成果	授業以外で、他の参加者と自主的に学ぶ機会の提供により、学習習慣の定着と学力向上を図ることができた。また、長期休業中の課題について計画的に進める一助となっている。		
その他			
		評価	判定
小学生の長期休業中の学習習慣の定着が図られたとともに、ボランティアの中学生の自己有用感の醸成にもつながった。			☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 継続 ☐ 休止 ☐ 再考 ☐ 廃止

事業の領域	地域で子どもたちを育てる環境づくりの推進
-------	----------------------

No.	7	
事業名	スマイル塾夏期・冬期学力アップ講座（中学生）	
実施年月日	夏期：令和7年8月6日(水)～7日(木) 冬期：令和7年12月23日(火)～24日(水)	
事業の目的	中学生に長期休業中の学習機会の提供と学習習慣の定着を図るとともに、現役高校生と交流することにより学習意欲を高める。	
事業の概要	スマイル塾に設置しているタブレットPC及び中学生の持参した宿題、中学校提供の模擬問題集等を活用し、学生ボランティア及びスマイル塾臨時講師による個別指導を行う。	
参加状況	夏期：参加者13名（ボランティア講師1名） 冬期：参加者8名	
事業の成果	授業以外で、他の参加者と自主的に学ぶ機会の提供により、学習習慣の定着と学力向上を図ることができた。特に受験を控える3年生については、1年生から3年生までの幅広い分野の復習の機会となった。	
その他		
評価		判定
スマイル塾経験者の高校生から積極的なボランティア（有償）の申し出による臨時講師の依頼等を実施し、講師の確保を行いながら中学生との交流機会も図ることができた。		☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 継続 ☐ 休止 ☐ 再考 ☐ 廃止

No.	8	
事業名	少年野球教室	
実施年月日		
事業の目的	スポーツへの関心、野球の知識・技術を高めるとともに、体力向上を図ることを目的とする。	
事業の概要		
参加状況		
事業の成果	ホーネットスレディースとの調整がつかなく、中止とした。	
その他		
評価		判定
		☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 継続 ☐ 休止 ☐ 再考 ☐ 廃止

事業の領域	地域で子どもたちを育てる環境づくりの推進
-------	----------------------

No.	9	
事業名	かんたん！書道教室	
実施年月日	令和7年10月20日(月)・22日(水) 午後2時30分～午後3時30分 喜茂別小学校ミーティング室	
事業の目的	書道を通して活字に親しむとともに、豊かな心の育成を図る。	
事業の概要	町内小学生1～2年生を対象に実施。社会教育委員及び書道経験者による指導の下、学年ごとの課題文字に取り組んでもらう。事業終了時に各自清書した作品を提出し町文化祭にて展示する。	
参加状況	児童15名（喜茂別小学校1年生8名・2年生7名）	
事業の成果	参加児童は、筆の持ち方や払い・とめ・はね、バランスなどのアドバイスを受けながら、書道に取り組んだ。毛筆に触れる良い機会であり、また講師である社会教育委員と参加児童の交流も図られた。 作品は、町文化祭にて展示を行った。	
その他	主管：社会教育委員 協力：松田聡美氏（生涯学習ボランティア）	
評価		判定
小学3年生の書道授業への橋渡しとして、書道への良いきっかけ作りとなっている。 社会教育委員が講師という立場で直接事業運営に関わり、参加者の声を聴くことで、次年度に向けた事業見直しや事業計画について深みのある協議につながられる。		☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 継続 ☐ 休止 ☐ 再考 ☐ 廃止

No.	10	
事業名	きもべつジュニアリーダーワークショップ	
実施年月日	令和7年5月から令和8年1月	
事業の目的	中学生の自主性と主体性、協調性を育み、次代のリーダーを育成するきっかけづくりを図る。	
事業の概要	中学生に対し、ジュニアリーダー事業への参加集約を行い、町内各種事業、教育委員会事業等へ参画し、まちづくりに触れ、様々な人たちとの交流を通じて社会の担い手としての基礎を学ぶ。	
参加状況	参画者6名（男子4名、女子2名）	
事業の成果	実施事業として、図書まつりや小学生学習会の講師を体験し、参加した生徒は、積極的に事業に取り組み、小学生や関係者ともコミュニケーションを図っていた。学校からも普段見ることの少ない生徒たちの行動や参加したことによる変容について好評であった。	
その他		
評価		判定
時代を担う人材の育成において、きっかけとなる事業となった。 参加生徒の積極的に取り組む姿勢が多く見られた。		☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 継続 ☐ 休止 ☐ 再考 ☐ 廃止

事業の領域	学んだ成果を活かす生涯学習の推進
-------	------------------

No.	1	
事業名	聞き書き事業	
実施年月日		
事業の目的	その人の体験や努力から生きる知恵を学び、自分のこれからの人生に活かすとともに、その人の人生を知ることにより、理解が深まり、支えあうことの大切さや人と交流することの楽しさを伝える。	
事業の概要		
参加状況		
事業の成果	対象者の調整がつかなく中止とした。	
その他		
評価		判定
		☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 継続 ☐ 休止 ☐ 再考 ☐ 廃止

事業の領域	潤いのある地域づくりを目指す生涯学習の推進	
No.	1	
事業名	かんたん！スマホ教室	
実施年月日	令和7年9月16・18・30日、10月7日 スマイルセンター3階 図書室内談話室	
事業の目的	スマートフォン、タブレットPCをはじめとしたICT機器の使用について、講習会を開催することにより、ICT機器への理解を深めるとともに、安全・安心・便利な利用方法の習得を図る。	
事業の概要	携帯電話会社社員を講師に文字入力などの基本操作から、LINE・ネットショッピングなど日常生活で役立つスマートフォンの便利な機能、コミュニケーションツールの使い方など、実技を交えた講義を行う。	
参加状況	参加者7名	
事業の成果	参加人数も少なくなってきたおり、元気応援課においても同様な事業を展開していることから、次年度以降は事業を廃止し、要望があれば検討していきたい。	
その他		
評価		判定
		☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 継続 ☐ 休止 ☐ 再考 ☒ 廃止

事業の領域	文化・芸術活動の推進
-------	------------

No.	1
事業名	令和7年度芸術鑑賞会（小学校）
実施年月日	令和7年9月11日(木) 午前10時00分～午前11時10分 喜茂別小学校体育館
事業の目的	優れた芸術・文化に触れ、体験することにより、感性や創造性を育む。
事業の概要	劇団さっぽろによるミュージカル「あらしのよる」を上演し子どもから大人まで幅広い世代に向けて、舞台芸術に親しむ機会を提供する。
参加状況	小学校児童・教員
事業の成果	優れた芸術・文化に触れる貴重な体験機会が図られた。
その他	
評価	
学芸会前に実施し、表現力の向上を図っている。 内容は毎年学校の希望を取り入れて実施していることから、内容等は学校と協議して進める。	
判定	
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 継続 ☐ 休止 ☐ 再考 ☐ 廃止	

No.	2
事業名	令和7年度芸術鑑賞会（中学校）
実施年月日	令和7年9月20日(土) 午前10時30分～午前11時40分 喜茂別中学校体育館
事業の目的	優れた芸術・文化に触れ、体験することにより、感性や創造性を育む。
事業の概要	日本の伝統的な古典芸能である江戸落語及び太神楽曲芸の鑑賞を行い、落語教室や曲芸体験を通して伝統文化への理解と関心を深める機会を提供する。
参加状況	中学校生徒、教員
事業の成果	優れた芸術・文化に触れる貴重な体験機会が図られた。
その他	
評価	
中学生における芸術鑑賞事業として、定期的に芸術鑑賞していることから、今後についても調整を図り、機会の創出に努めたい。	
判定	
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 継続 ☐ 休止 ☐ 再考 ☐ 廃止	

事業の領域	健康づくり・スポーツ活動の推進
-------	-----------------

No.	1
事業名	春のフットパス
実施年月日	令和7年5月17日（土） 午前8時30分～午後4時00分 北広島市エルフィンロード・エスコンフィールド
事業の目的	ウォーキングを通じて健康づくりへの意識を高め、参加者同士の交流を図る。
事業の概要	北広島市の日本ハムファイターズの本拠地エスコンフィールドまでウォーキングを行い、昼食休憩後にエスコンフィールドに移動。ウォーキングや施設見学を行いながら参加者同士の交流を図る。
参加状況	参加者43名（引率5名）
事業の成果	普段歩く機会の少ないエスコンフィールドまでのエルフィンロードをウォーキングで自然を感じるとともに、エスコンフィールド施設の見学を行い見聞を広めた。幅広い世代が交流する機会となった。
その他	
評価	
参加者からもおおむね好評を得ており、様々なところを散策したいという要望も出ている。	☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 継続 ☐ 休止 ☐ 再考 ☐ 廃止

No.	2
事業名	第43回教育長杯ゲートボール大会
実施年月日	令和7年9月8日（月） 午前9時～午前11時50分 ふれあい公園ゲートボール場
事業の目的	町内のゲートボール愛好者同士の親睦を深める場の提供と、ゲートボールを通じた健康づくりの推進を図る。
事業の概要	開会式、始球式（教育長・老人クラブ会長・大会最年長者）後、1チーム2試合のリーグ戦による競技を行い、勝敗及び得失点差により順位を決定する。試合後、表彰式を開催し表彰する。
参加状況	4チーム21名
事業の成果	けが人等無く、参加者同士の親睦と健康づくりを図ることができた。
その他	老人クラブ連合会ゲートボール部との連携事業 鈴川・双葉チームの送迎については、社会福祉協議会に依頼して対応した。
評価	
ゲートボール愛好者にとっての練習の成果を発揮しやりがいを感じることのできる機会であり、参加者同士の交流が図られている。	☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 継続 ☐ 休止 ☐ 再考 ☐ 廃止

事業の領域	健康づくり・スポーツ活動の推進
-------	-----------------

No.	3	
事業名	秋の登山「塩谷丸山登山」	
実施年月日		
事業の目的	登山を通して体力の維持や向上を図り、自然に親しむことで健全な精神を育み、参加者相互の親睦を図る。	
事業の概要		
参加状況		
事業の成果	天候不良と開催数日前に山中に熊が出没したの情報があったことから、開催困難と判断し、中止とした。	
その他		
評価		判定
		☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 継続 ☐ 休止 ☐ 再考 ☐ 廃止

No.	4	
事業名	秋のフットパス～きもべつ歴史探訪～	
実施年月日	令和7年10月4日(土) 午前9時00分～正午 留産・大町・相川地区	
事業の目的	参加者相互のふれあいを深め、自然を楽しみ、健康増進及び体力向上を図ることを目的とする。	
事業の概要	車と徒歩両方の移動手段により、各ポイントで、きもべつ歴史プロジェクトの会による解説を聞き、喜茂別の歴史を学びながらウォーキングを楽しむ。	
参加状況	一般参加者12名、引率3名	
事業の成果	自然を体感しながら参加者に負担のかからない程度で歩くことにより適度な運動となり、自分自身の体の状態を把握することができた。各ポイントで歴史プロジェクトの解説により、貴重な喜茂別の歴史に触れ学ぶことができた。	
その他		
評価		判定
まちの歴史についての関心が非常に高いことから、今後も学びのニーズにあわせた事業づくりを検討していく。		☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 継続 ☐ 休止 ☐ 再考 ☐ 廃止

事業の領域	健康づくり・スポーツ活動の推進
-------	-----------------

No.	5	
事業名	アルペンスキー教室	
実施年月日	令和8年1月14日(水)～16日(金) 午後6時～午後8時 ルスツリゾートスキー場	
事業の目的	アルペンスキーの基礎を学び、スキー場でのマナーや知識、技術を習得すると共に、参加者の体力向上を図る。	
事業の概要	町スキー連盟会員を講師に迎え、参加者の技量にあわせてグループ編成を行い、リフト乗降から滑走やターンなどについての指導を行う。	
参加状況	参加者27名（小学生26名、中学生1名）	
事業の成果	それぞれの技術レベルに応じた指導（必要に応じて個別指導）がなされ、参加者は無理なく課題に取り組み、楽しく滑ることができた。初級・上級問わず参加者全体のレベルの底上げができ、学校におけるスキー授業の一助となった。	
その他	後援：町スキー連盟	
評価		判定
小学校スキー授業の補完的役割もあり、保護者からの開催要望が高い事業である。また、本事業がきっかけで少年団に加入する児童もいることから、競技人口拡充にも寄与している。		☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 継続 ☐ 休止 ☐ 再考 ☐ 廃止

No.	6	
事業名	剣道教室	
実施年月日	令和8年3月9日（月）、11日（水） 午後6時～午後7時 喜茂別町武道館	
事業の目的	喜茂別町で70年以上の歴史と伝統を持つ剣道を体験することにより、武道に対する興味関心を育み、競技人口の拡充を目指す。	
事業の概要	町剣道連盟の田嶋氏を講師に、喜茂別剣道少年団員を協力者として実施する。剣道の基礎的な礼儀作法、足さばき、竹刀の振り方などを体験する。	
参加状況	未就学児5名、小学生3名	
事業の成果	参加者として、未就学児童や一般の参加もあり、剣道の持つ礼節や、足さばきなどの運動要素、大きな声を出すなど、普段の生活で体験する機会が少ない内容を実施することができた。	
その他		
評価		判定
剣道教室を通じて入団する児童等もいることから、剣道人口の拡充にも寄与している。		☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 継続 ☐ 休止 ☐ 再考 ☐ 廃止

事業の領域	読書活動の推進
-------	---------

No.	1	
事業名	図書まつり	
実施年月日	令和7年12月20日(土) 午前9時00分～正午 喜茂別中学校	
事業の目的	絵本の読み聞かせ等を通して、子どもたちの豊かな感性や情操を培い、親子が本に触れる機会を提供するとともに、図書室の利用促進を図る。	
事業の概要	読書活動推進員等による絵本の読み聞かせや製作体験、ゲームなどを通じ本に触れる機会を提供し図書に興味を持ってもらう取り組みを行う。また、喜茂別中学校「学校図書館展」と共催で実施し内容の充実を図る。	
参加状況	参加者約30～40名	
事業の成果	読書活動推進員等による絵本の読み聞かせやクリスマスキャンドルづくり、中学校「学校図書館展」の共催で実施した大人向け授業体験など、読書のみならず幅広い事業展開を行うことができた。また、チグリスやアメノヒ古書店の協力により様々な年代が楽しめるイベントとなった。	
その他		
評価		判定
図書を通じた参加型のイベントを行うことにより、読書の啓発や町図書室の利用促進に寄与している。		☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 継続 ☐ 休止 ☐ 再考 ☐ 廃止

No.	2	
事業名	ブックフェスティバル	
実施年月日	令和7年12月18日(木) 喜茂別中学校視聴覚室	
事業の目的	生徒自ら大量の本の中から興味のある本を選ぶことなどを通して、潜在している子どもの読書意欲を引き出し、子どもの読書活動への関心を高める。	
事業の概要	道立図書館より借受けた図書を会場一面に並べ、生徒が読みたい本を選び、長期（1カ月程度）の貸出を行う。	
参加状況	町内中学校生徒	
事業の成果	様々なジャンルの図書をランダムに配置し、表紙を見やすく展示することで、生徒同士で話しながら普段読まないジャンルの本を手にとったり借りたりすることができ、本への関心を高め、読書の幅を広げることに繋がった。	
その他	主催：喜茂別中学校	
評価		判定
今年度は大量一括貸出を利用した形態で行ったが、一年に一度でも毎年イベント的に図書に触れられる機会を設けることで、学校全体で本に親しむ機会が創出され、読書の啓発に繋がっている。		☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 継続 ☐ 休止 ☐ 再考 ☐ 廃止